

# ～愛知用水路の建設～

牧尾ダム建設工事と同じくアメリカから輸入された大型の土木機械が大活躍し、水路の工事も全線で牧尾ダム建設工事と同時に行われました。

そして、1961年、(昭和36年)9月、わずか4年という短い期間で愛知用水路は完成しました。(幹線水路約112km、支線水路約1,000km)

兼山取水口ゲートのスイッチが押され通水が始まると、集まった人々から自然とバンザイの声がわきあがりました。

通水式の様子は日本全国へテレビ放送されました。



建設中の幹線水路



建設中の幹線水路  
いるか ずい るきわ  
(入鹿水路橋)



通水開始(兼山取水口)

牧尾ダムを含めた  
建設費・約422億円は、  
現在のお金にすると約2,237億円で、  
昭和36年の国のお金の約2%に  
相当するんだって!



## 豆知識

### 世界銀行から お金を借りました

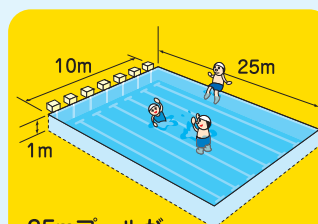
愛知用水を4年で完成させるために世界銀行からお金を借りました。その借った金額は490万ドル(約17億円、現在では約90億円)でした。

### 通水を喜ぶ人々



取水口だけでなく、初めてやってくる木曾川の水を見ようと水路にも大勢の人が集まりました。

### 兼山取水口の能力



25mプールが  
約8秒でいっぱい

兼山取水口で取り入れることのできる水の量は1秒間に30立方メートル。約8秒間で25メートルプールをいっぱいになります。

